

令和2年度 9月「学校評価アンケート」の分析「公表資料」

9月に実施した「学校評価アンケート」へのご協力ありがとうございました。本校が掲げている4つの「めざす生徒像」を実現させるための、具体的な取組についての結果と分析をお知らせいたします。

学校教育目標「豊かな心と向上心にあふれる生徒の育成」の達成に向けて

「めざす生徒像」づくり

【1. 自ら進んで学習する生徒】

・「見通し・ふり返る」で学習への意欲を感じている生徒

【2. 互いの良さを認め高め合う生徒】

・互いの良いところを見つけ伝え合うことのできる生徒

【3. 心と体を鍛える生徒】

・自律清掃で、自分の心を磨いている生徒

【4. ふるさとに誇りを持つ生徒】

・地域に誇りを持つ生徒



【1. 自ら進んで学習する生徒】

(質問5)「授業で学習内容の見通しを持ったり、ふり返ったりすることができる」

「よくあてはまる」「あてはまる」合計96% (生徒)

(質問6)「授業で自ら進んで課題に取り組んでいる」

「よくあてはまる」「あてはまる」合計88% (生徒)

授業での「見通し・ふり返り」については6月の96%に引き続き、高い数値を継続しています。「授業で自ら進んで課題に取り組んでいる」については6月の89%と変わらない結果となっています。その内訳を見ると「よくあてはまる」と回答している生徒の数値がやや減少しています。今後も見通し・ふり返りのある授業を継続しながら、生徒一人一人が意欲的に参加し、有意義で深い学びのある授業づくりに取り組んでいきます。

(質問8)「学んだことをふり返ったり(復習)次の授業を見通した勉強(予習)を家でしている」

「よくあてはまる」「あてはまる」合計86% (生徒)

(質問7)「子どもは家庭学習の習慣がついている」

「よくあてはまる」「あてはまる」合計45% (保護者)

家庭学習については、6月の87%に引き続き、高い数値を継続しています。内訳では「よくあてはまる」生徒が48%と6月と同様の結果でした。一方で、保護者の「よくあてはまる」は45%と6月の79%から大きく下降した結果となっています。学校再開後の家庭での生活が大きく変わったことや、「ガリガリノート」(自主学習ノート)を用いての家庭学習が定着してきたにもかかわらず、学習内容に課題があることも考えられます。そこで、生徒自身が自分に必要な学習を知り、主体的に考えて取り組むことができるよう、授業内容に創意工夫を凝らしていきます。さらに家庭と連携して家庭学習の定着、質の向上に取り組んでいきます。

【2. 互いの良さを認め高め合う生徒】

(質問11)「友達の良い行いや長所を見つけることができる」

「よくあてはまる」「あてはまる」合計100% (生徒)

(質問12)「友達に対して、思いやりの心で行動している」

「よくあてはまる」「あてはまる」合計99% (生徒), 91% (保護者)

生徒同士が良いところを見つけ発表し合う「とりごえもんの羽」が定着してきており、他の人の良い行いを見つけようとする生徒の意識が高くなっていることがうかがえます。今後も生徒一人一人の良さを認め自尊感情を育むとともに、他者への思いやりが自然と生まれるような場面を設けていく取組をしていきます。

【3. 心と体を鍛える生徒】

(質問15)「自律清掃(無言, 見つけ)を通し、自分の心を磨いていると感じる」

「よくあてはまる」43%, 「あてはまる」46% 合計89% (生徒)

自律清掃の取組に対する意識の高さがうかがえる数値となっています。内訳を見ると、「よくあてはまる」生徒は6月の51%から8%下降しています。しかし、生徒たちの様子を見る限りは清掃活動への取り組みは大変良好です。今後も高い意識を持って清掃に取り組み、静かに自分の心を整える時間となるよう、自律清掃の意義について確認することが大切であると考えます。

【4. ふるさとに誇りを持つ生徒】

(質問16)「地域に愛着や誇りをもっている」

「よくあてはまる」58%, 「あてはまる」36% 合計94% (生徒)

(質問13)「子どもは、地域に愛着や誇りを持っている」

「よくあてはまる」「あてはまる」合計92% (保護者)

家庭や地域の大人が地域を大切に思い貢献するが、自然と生徒に伝わっているように感じられます。今年度はこれまでコロナ禍の影響で昨年度まで行っていた行事が中止となり、地域と連携した取り組みができない状況でした。まだまだ予断は許しませんが、今後は可能な限り地域の方に来ていただいたり、歴史、伝統、地域の産業や文化を振り返ったりするような活動を授業や学校の行事に積極的に取り入れ、鳥越中学校らしさの一つである愛郷心をさらに育てていきます。